

舞踊実演と講演

「コンテンポラリーダンスを通して見る舞踊の社会的意義」

日時：2014年11月24日（月）10：40～12：10

会場：お茶の水女子大学 本館 306 教室 聴講無料（事前申し込み不要）



梶谷 拓郎
KAJIYA Takuro
(ダンサー・振付家)

講師プロフィール：

沼田 志歩 NUMATA Shiho
(ダンサー・振付家)

幼少より山路瑠美子に師事。お茶の水女子大学（舞踊教育学コース）入学後、片岡康子らに師事。アムステルダム芸術大学卒業後、ヨーロッパを拠点に活動し Gisela Rocha Dance Company に所属。Seoul Art Relay2008, East Dragon-日韓プロジェクト 2009, International Dance Festival Taegu2010, WIZ World Festival(Incheon)2012 に招聘される。また、オランダ・ハーグ現代美術館で奈良美智の個展オープニングで踊る等、様々なジャンルのアーティストとコラボレーションを行う。2014年第16回東京なかの国際ダンスコンペティション創作部門第1位、第71回全国舞踊コンクール創作部門第2位など多数受賞。

ヨーロッパのカンパニーで活躍する日本人達が力を合わせて行ったプロジェクト LUCT (<http://projectluct.wix.com/projectluct>) 主催の東日本大震災復興支援公演で発表した作品「Bottom of the sky」の実演の後、ヨーロッパのカンパニーにおけるダンサーの社会的地位、役割、および、ダンサーが社会的に担える役目などについてお話していただきます。

ダンス関係者だけでなく、他ジャンルの芸術活動に関わる方々の参加もお待ちしています。（一般教室のため、ダンスの実演は少し見えづらいところがありますがご了承ください。）

*** LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席し、レポートを提出することにより、授業の出席として認められます。**

(写真・右)
平成25年度文化庁新進舞踊家およびファッションテキスタイルデザイナー育成事業公演(2014年1月あうるすぽっと)『IS there AN escape?』撮影；(有)山口フォトアート



問い合わせ先：お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授 中村美奈子
nakamura.minako@ocha.ac.jp